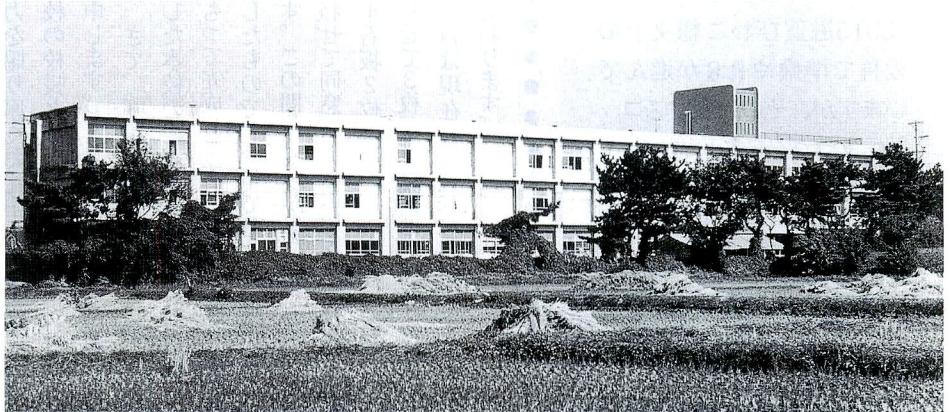


耐震補強改修工事もうすぐ完成

昭和47年（1972年）から50年にかけて建設された本校の校舎は、現在の耐震基準を満たしていないため、昨年度から耐震補強の改修工事が行われています。第2棟と体育館の改修は25年度末に完成し、現在第1棟の工事に入っています。大がかりな工事部分は夏休み中にほぼ完了しており、外装などがすべて完成するのは年度末（27年春）の予定です。



学校の現況

生徒数

課程			学科			通学区域		
全日制			総合学科			県全域		
第1学年			第2学年			第3学年		
男	女	計	男	女	計	男	女	計
70	92	162	65	79	144	63	85	148
						198	256	454

卒業生数

校名	男	女	計
町立日野女子手芸学校		65	65
町立日野実科高等女学校		167	167
町立日野高等女学校		77	77
県立日野高等女学校		1,962	1,962
高校併設中学校	29	108	137
県立日野高等学校	6,598	7,649	14,247
（県立中央高等学校日野校舎含む）	商(1,078)	商(2,575)	商(3,653)
県立日野高等学校（総合学科）	507	746	1,253
総 計	7,134	10,776	17,910



会報
渓泉

第 5 号

題字
住井前同窓会長

発行者
日野高等学校渓泉同窓会
滋賀県蒲生郡日野町上野田150

印刷所
株式会社サラト
姫路市北条宮の町 172
TEL 079-284-1380

渓 泉

歴史と伝統のある日野高校

せりなる発展にご支援を

渓泉同窓会副会長 西田三枝子（昭和44卒）



綿向山をはじめ日野町の野山は、木々が色づき秋の気配が深まってまいりました。

同窓会員の皆様には、お元気でお過ごしのこととお喜び申します。日頃は同窓会のためにご支援、ご協力いただき厚くお礼申しあげます。

明治三十八年に前身であります日野町立日野裁縫学校が創設されてから百九年、約一万八千人の皆様がご卒業され、それぞれに思い出深い高校生活を送られたことと思います。

同窓生の皆様が全国各地や世界で活躍されておられることを聞くにつけておられることが多くなっています。私は、今年四十九年ぶりにクラス会に出席し、懐かしいクラスメイトと思い出話に花を咲

かせました。私たちの通っていた校舎はもうありませんが、みんなの心の中に青春の一ページが刻まれているようです。

一昨年県立高校の再編成が計画されましたが地域の熱い要望もあり、日野高校は対象とならず、現在、耐震工事が行われております。

二十七年三月には安全できれいな校舎に生まれ変わる予定と聞いています。

これからも、未来の町を担う子どもたちが、活き活きとして学べる日野高校を、地域とともに、私たち同窓会も守り育てていきたいと思います。どうぞ皆様の熱いご支援を賜りますようよろしくお願い申しあげます。

さて、昨年度体育館と第二棟から始まりました本校の耐震工事は今年度第一棟の工事をもって完成します。現校舎は1974年に完成したもので、今年でちょうど築40年と成ります。この間、2005年の創立100周年に合わせて同窓会で設置いただいた第一棟壁面の懸垂看板2枚はその後学校が設置した1枚と合わせて3枚が学校管理下に置かれており、その内容は現在の総合学科を説明するものとなつております。

また、本校が抱えるその他の教育課題に対しましても、会員の皆様からの忌憚のないご意見を賜り、その解決に努めていこうと思っておりますので今後ともご指導とご協力をよろしくお願い申しあげます。

同窓会員の皆様方に

上ります。平素は日野高等学校の教育振興のため、ご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。この度、本校の校長として赴任いたしました音野吉俊と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年度体育館と第二棟から始まりました本校の耐震工事は今年度第一棟の工事をもって完成します。現校舎は1974年に完成したもので、今年でちょうど築40年と成ります。この間、2005年の創立100周年に合わせて同窓会で設置いただいた第一棟壁面の懸垂看板2枚はその後学校が設置した1枚と合わせて3枚が学校管理下に置かれており、その内容は現在の総合学科を説明するものとなつております。

本校が総合学科に改編してから本年度でちょうど10年となります。その間社会の変化に合わせた改革を行つて参りましたが、昨年度より新しい教育課程が本格実施となり、それに合わせた体制の見直しは現在も進行中です。その中には、昨年度よりすでに実施している三学期制への移行や進級規定の見直しも含まれており、今後は系列自体にも検討を加え、地域や同窓会員の皆様の期待に応えられる学校作りを目指したいと思っております。そして、その流れに従い現在の看板を新しい体制に合わせたものに変えていきたいと思っておりますので、会員の皆様のご理解とご協力を願いたいたします。

また、本校が抱えるその他の教育課題に対しましても、会員の皆様からの忌憚のないご意見を賜り、その解決に努めていこうと思っておりますので今後ともご指導とご協力をよろしくお願い申しあげます。

新しい体制を目指して

滋賀県立日野高等学校校長 音野 吉俊



本校音楽部がイメージソングを合唱

来夏、滋賀で

全国総文祭



運動部のインターハイ（全国高校総体）に相当する文化部の全国大会、「第39回全国高等学校総合文化祭」が来年夏、滋賀で開催されます。

「翔びたとう創造の翼できらめく湖から」をテーマに「2015滋賀びわこ総文」の愛称で準備やPRが進んでいますが、その大会マスコットキャラクターに日野のしゃくなげをイメージした「湖楠（うみな）」（上のカット）が決まり、大会イメージソング「ありのままの僕らで」が本校音楽部の合唱で初披露されました。

総文祭は、演劇・合唱・吹奏楽・書道・写真など22部門にわたって、平成27年7月28日から8月1日まで大津市や守山市など県内13市で開催されます（残念ながら、日野町での開催はありません）。

日頃活躍の場を見る機会の少ない高校生の文化系クラブの発表の場として総文祭は貴重な機会です。全国的にも評価の高い本校音楽部をはじめ、本校生に大いに活躍していただきたいものです。

なかたみのるさん



プロフィール

本校1964年(昭和39年)3月卒。関西大学卒業後、湖東信用金庫に勤務。現在は、日野町シルバー人材センター常務理事・事務局長。

2001年から旧家の板塀の桟敷窓を活かした「桟敷窓アート」を始め、その後、2008年から「ひなまつり紀行」を立ち上げる。

柔らかいタッチの手づくり案内板、まち歩き用の手書きの地図、イベント参加宅の玄関に置いた竹飾りなど、日野のまちなみを活かしたイベントの仕掛け人としてよく知られている。

「街並みを活かす桟敷窓アートの会」世話人。なお、この会はアートによる地域の活性化と観光振興に功績があったとして、平成25年度滋賀県市町村振興協会より表彰を受ける。

活躍してます
同窓生

桟敷窓アート・ひなまつり紀行 町おこしの仕掛け人

中田 穂さん

——まず高校時代の思い出から。

新聞班のクラブの仲間や、級友と、よくキャンプや山登りに行つて、楽しかったのが一番の思い出。また、絵を描くのが好きでしたから、運動会の大きなバックの絵を、一人で描いたりしてました。

中田さんといえば、「桟敷窓アート」が思ひ浮かぶのですが、その発想のきっかけは? 日野や近隣の町には、素敵な工芸品を作っている作家さんが、たくさんおられます。

そういう人たちを、紹介する場を作りたいと。日野でするのなら、全国でも珍しい「桟敷窓アート」の町並みの中が、絶対良いと思い、旧正野薬店(現在の「まちかど感応館」とその近隣の家をお借りして始めました。

この活動は、回を重ねるごとに、次第に地元の方にも認知されて、「日野の町並みの景観や歴史」に関心のある方が、遠方からも来られるようになって、賑わうようになり、工芸展というより、日野の伝統や街並みを紹介する町の一大イベントと発展していきました。

イベントのスタートの時点から、工芸作家さんをはじめ、友人や町内会の皆さんや、

いろんなサークルの方々など、実際に多くの人に、実践的な応援をして頂きました。この町を盛り上げたいと思う多くの人の気持ちが、このイベントを支えています。この活動を通じて、人と人とのつながりが、大切だなあと実感しています。

——若い人に望むことは? イベントを運営しているのは、圧倒的に年配の人が多いんです。もっと若い人にも参加してもらつて、新しい発想と、行動力で協力してほしいところです。高校生が、観光案内のボランティア等でこのイベントに参加してもらえるとありがたいと思います。人力車の車夫もいいですし、女子高生が雛人形めぐりを案内するのもいいです。この町の素晴らしい歴史を勉強して、この郷土を好きになつて、高校生に、「まちおこし」「この街の発展」の一翼を担つてほしいですね。



桟敷窓アートを前にしたまちかど感応館のにぎわい

——日野の「ひなまつり」のイベントは、他の町と違つて、多くの個々の家庭が参考されているのが特徴ですね。

今年で7回目となりましたが、始める時、他の町のやり方を、方々見に行きました。一番参考になつたのは、愛知県の「足助の中馬のおひなさん」です。商店も個人の家も軒並みにお雛様を飾つていて、街中が盛り上がつていました。竹の飾り物も、街角で多く見かけました。この町から日野の「ひなまつり」のヒントをいただきました。

「ひなまつり」の方が「桟敷窓アート」よりも、観光イベントとしての反応はいいですね。今では、200ヶ所近くでおひなさまが飾られるようになり、たくさん観光客が来るようになりました。訪れた観光客からは、こんなにも多くの家庭が協力して



ひなまつり紀行にて——ホイノボリと竹の飾り物が見える

スで、部活動で 同窓会

間同窓生の皆様方にお伝えしてきたことがらは、母校の

ことが載ってない」というお声をいただいていました。

ていただきました。

があれば、一方では30年間連続して同窓会をひらいてき

同窓会が行われています。

ています。



卒業以来初めての学年同窓会

幹事会 嶋 村 則 幸

色々な機会に、同級生の友人と出会うことあります。その度に「クラスの同窓会はあるけど、学年みんなで一度、同窓会をやろうよ」という話はよく出てくるものです。でも、高校を卒業して30数年がたち、一度も実現したことがありません。いつか、誰かが、どこかでやってみないと、この話は終わらないということ、「やろうとしたけど出来なかつた」ということになるかもしれないけど始めてみると

懐かしい卒業アルバムを取り出し、とりあえず連絡のつく各クラスの人には声をかけ、一度集まつてもらうことにしました。当初、同窓会名簿を管理しているところが幹旋している同窓会企画もあったのですが、住所不明の人も多く、そのままの状態で案内状を出して半分近くの人に届かないのではないかという現状でした。第1回目の幹事会では、準備に約半年間、そして同窓会を成功させたためには何よりも、住所を調べ直すことが課題と提案。そのことに幹事の方は「やろうよ」と声を出してくれて一步前に踏み出ことになりました。

はがき案内を出す前に電話やつながりをいかして声をかけ住所調べ、その甲斐あって約300枚のはがきを発送、どうしても不明なのが数枚ほどでした。その後も未返信の人に声かけ、企画準備に幹事会を何度も開きました。参加集約は、目標の100名を突破、でも当日が近づくにつれ、キャンセルの電話がかかる出し、予想はしていたものの少し心配の日々。しかしながら、お忙しいところ恩師の先生も出席くださいり、同窓生も大勢の方が参加してくださいました。会場では「あー」とか「おー」とかからはじまる再会の会話があちこちで聞かれていきました。ステージでは恩師の先生のスピーチや、この日限りのバンド「ドーソン」



昭和44年3年E組クラス会
45年ぶりに見る同級生に、あなたは誰?

代表幹事 牧 野 伸 一

さかのぼること45年、その間に卒業してまもなくと、22年前と2回クラス会が開催されました。

還暦も過ぎ、またクラスメイトが懐かしくなる年代となり、クラス会の話が持ち上がり、幹事8名が準備を進めてきました。

去る6月7日の土曜日、大津市雄琴温泉の「湯の宿 木もれび」でクラス会を開催し、男子10名、女子6名、合計16名の参加となりました。

東京、横浜、大阪、岐阜と遠方からも参加され、懐かしい顔が揃いました。

顔を見るなり「あなたは誰? わからへんわ」といっていった人たちも、宴会で自己紹介と近い

昭和43年3年C組同窓会 若々しい武久先生とともに

中野 耕平



平成26年2月19日午後、レストラン岡崎で昭和43年3月卒3-C同窓会を行いました。参加者は17名。

昭和43年の卒業以来、何度か同窓会を催してきましたが、ここ最近はちょっと間があって、10年ぶりの同級会になりました。わずか数時間ではありましたが、「久しぶり」「ごきげんさん」と懐かしい顔を前に話が弾んでなごやかに楽しい一日を過ごしました。

武久善彦先生を前に「あの同級生は誰やった?」と聞くやつも!先生のお顔はあまりにも若々しくつやつやしているので、同級生以上に若く見えました。うらやましいかぎりです。

先生も皆さん元気で!と、次の再会を誓って解散しました。

(本文は、欠席同級生あての中野氏の手紙を編集部で若干手直しさせていただいたものです。)

昭和43・44年美術班同窓会 顧問の眞野先生を招いて



の日野高美術班の同窓会を開催しました。

又、美術班の顧問でおられた、眞野先生にもご出席していただきました。

高校卒業後の40数年ぶりの再会！

会って？ちょっと、わからなかつた人、ハゲた人、白髪やシワが増えた人。みなさんは60歳の還暦を迎えて、少しあはゆつたりとした人生をあゆみかけておられる事など、40数年の人生の証しを感じました。

あっと言う間に時間が過ぎてしまい、とても楽しい同窓会でした。

次回は43年卒・44年卒と新たに45年卒の方々に加わってもらい、本年度11月には眞野先生の「古希を祝うつどいの会」を計画します。

43年卒幹事
瀬川 隆雄

一氣呵成にしたためた「一期一会」の一一行、何事も「一生にただ一度の機会」と心して、大切にせよと説く尊い諱のことばだが、60才すぎて、少しわかりだしてきた私は3年前に43年卒・44年卒

学年で、クラス 花ひらく

同窓会報『渓泉』は、復刊5年目を迎えたが、この近況と役員(会)情報が中心でした。

事務局には、「同窓会報なのに、学年やクラスの同窓会そこで、今号は最近行われた同窓会の様子をレポートし

卒業後初めて学年全体の同窓会を行ったという年度たという年度もあります。学級や部活動などでも様々なさて、あなたの卒業年度では……？新たな情報も待

ズを結成。当時、流行っていたなつかしの曲をみんなで歌い、盛り上がりました。

春時代にタイムスリップしていく。「またどこか会場を移し2次会、あの頃の話をすると、一気に青

で」「と、残念ながら参加できなかつた人のこと



も含めて、再会を約束しながら楽しいひとときが、あつという間に過ぎました。

なお、この会の若干の残金は日野町社会福祉協議会に寄付させていただきました。

2次会では、クラスメイトによるプロ顔負けのマジックショーの披露もあり、拍手喝采。歌える人の校歌斎唱で中締め、その後遅くまで話がつきませんでした。

次回は3年後に再会を約束し、もっと多くの人に出会えるのを楽しみに散会しました。



第29回渓泉綿向会 平成26年4月10日 エクシブ琵琶湖にて

30年間続いた同窓会

昭和27年第4回卒業
大野 武男

(1952) 第4回卒業生が昭和45年(1970)1月初回の同窓会を開催、卒業32年後の昭和59年(1984)に併設中学校卒業生(昭和24年)とともに会員221名に呼び掛け、渓泉綿向会第1回同窓会を京都市で開催しました。(名称は会員の応募により決定しました。)

以来二大災害年を除き平成26年まで30年間会員延べ1,320名、恩師61名のご参加を頂き日野高等学校同窓の縁で、旧交を温めることができました。

80歳の高齢を迎え、今後は居住地域の集いを中心とすることになりました。全会員への呼び掛けは今年限り、と4月米原市エクシブ琵琶湖と桜花爛漫の彦根城お堀めぐりクルーズで締めくくりとしました。高齢でご健在の恩師、山本俊雄先生・柴田進先生・永見ミエ先生には多年に亘り、ご参加ご指導を賜り深く感謝申しあげます。

この間日野高等学校ご当局、渓泉同窓会役職員の皆様方、担当頂いた幹事皆様のご労苦と、ご参加頂いた会員皆様のご協力に、深く感謝とお礼を申しあげます。



況報音をし合い、卒業アルバムをめくるうち
に当時がよみがえり、青春時代の話に花
が咲きました。

思い出の写真から

今日のようにだれもが写真を写すことのできなかつた時代。同窓生の方が大切にしまつておかれた写真をお借りして、懐かしい当時を思い出させていただくと同時に、その時代をご存じない若い同窓生とともに時代の雰囲気を感じていただこうという企画、「思い出の写真から」を始めます。

その第1回として前ページで同窓会の報告を書いてくださった大野武男さんの修学旅行の写真と『旅の菜』から、当時を振り返つてみましょう。

(写真説明を付与し一部補筆させていただきました。編集部)



昭和26(1951)年5月11日 修学旅行 箱根早雲山

背景に箱根から見る富士山。こんなすつきりしたアンダルは今日では見られない貴重な一枚でしょう。



当時の修学旅行の行程

(大野さんからお借りした『旅の菜』で復元しました)
昭和26年(1951年)5月10日～14日

5月10日

日 野 発	14:41	日野から京都に行き、京都より出発する。
貴生川 発	15:36	
京 都 着	16:45	

5月11日

小田原 着	3:54	早朝小田原に到着し、約1時間半休息して出発する。
強 羅 発	5:10	
強 羽 発	5:58	ここにて朝食し、公園を見学してケーブルにて早雲山に向かって出発。
早 雲 山 発	8:05	
大 深 谷 発	8:15	
大 深 谷 着	8:30	早雲山を出発して、
大 深 谷 発	9:30	徒歩にて大涌谷に到着。(一里有余に付き有志のみ)
大 深 谷 発	10:30	
早 雲 山 発	11:30	大涌谷で噴煙を見学して、再び早雲山に帰る。
強 羽 発	11:40	
強 羅 発	12:00	早雲山も終わって強羅に到着し、約一時間休息ここで昼食。
強 羽 発	13:00	小田原に出発す。
小 田 原 発	13:40	小田原に到着し、半時間程にて汽車に乗って藤澤に行く。
藤 澤 発	14:14	
江 / 島 着	15:01	ここから江の島に向かって汽車にて進行する。
江 / 島 発	15:10	
江 / 島 着	15:20	汽車は無事到着する。今夜はここで初めての旅の疲れを休めるために一泊する。

5月12日

江 / 島 発	7:30	早朝出発し、鎌倉を中心としていにしへの史跡に耳を傾け進行す。
長 谷 発	7:40	早くも到着し、約一時間後鎌倉に向かって出発。
鎌 倉 発	8:40	
鎌 倉 着	9:00	昔を偲んで東京に向かって出発する。
東 京 発	12:12	
東 京 着	13:12	東京に入り、上野に向かって出発す。
上 野 発	13:20	
上 野 着	13:35	午後自由見学をして遊び、今夜は上野にて一泊する。

5月13日

上 野 発	8:00	上野を出発し、本日は遊覧バスにて都内隈なく見学し、午後自由見学。
東 京 発	20:00	いよいよ名残惜しい東京駅をさらばして車中に仮眠する。
日 野 着	10:10	日野駅にて解散し、なつかしの我家に向かって帰っていく。

東京は皇居一重橋の前に整列して撮りました。『旅の菜』にもあるように、当時は「宮城」という言い方が一般的でした。



日野高等学校第3学年修学旅行 鎌倉 昭和26年(1951)5月12日

箱根・鎌倉・東京を主な見学地とする修学旅行は、長い間、最も親しまれたコースで、鎌倉は大仏前で記念撮影するのが定番でした。



日野高等学校第3学年修学旅行 東京 皇居前 昭和26年(1951)5月13日

2013年度活動実績

運動部

◆レスリング部◆

春季総体

団体戦	2位
個人戦	50kg 小泉麥哉 2位、青山拓矢 2位
	55kg 北岡佑介 1位、影山裕馬 3位
	60kg 手原笙 2位、野村魁星 3位
	66kg 池田心太朗 4位
	74kg 矢部翔大 4位
	84kg 奥田隆太 1位
	96kg 園田平 1位

秋季総体

団体戦	2位
個人戦	50kg 小泉麥哉 1位、青山拓矢 2位
	55kg 影山裕馬 2位
	60kg 野村魁星 3位
	66kg 池田心太朗 1位
	74kg 矢部翔大 2位

近畿大会

団体戦	出場
個人戦	49kg 川副愛華 3位
	50kg 藤澤大器 3位、青山拓矢 3位
	55kg 北岡佑介 1位
	84kg 奥田隆太 2位
	96kg 園田平 1位

2013年世界カデット選手権

全国総体(インターハイ)

全国高校生グレコローマン選手権大会

国民体育大会

JOCジュニアオリンピック選手権大会

2013年 全国高等学校レスリング選抜大会近畿予選

団体戦 6位(全国選抜大会出場決定)

個人戦 50kg 小泉麥哉 5位(全国選抜大会出場決定)

66kg 池田心太朗 6位(同)

◆サッカー部男子◆

春季総体(インターハイ予選)	1回戦 5-1 彦根総合
	2回戦 1-0 光泉
	3回戦 0-9 北大津(ベスト16)
秋季総体(選手権大会予選)	1回戦 1-3 大津
県2種サッカーリーグ3部Aグループ第2位(5勝1敗2分 勝ち点17)	

◆サッカー部女子◆

春季総体	1回戦 0-6 國際情報
県民体育大会	1回戦 0-14 國際情報
秋季総体	1回戦 0-17 國際情報

◆陸上競技部◆

春季・県体・ユース・秋季の年4回の大会に参加。決勝進出なし。

◆男子バスケットボール部◆

春季総体	1回戦 63-88 水口東
県民体育大会	1回戦 42-68 立命館守山
秋季総体	1回戦 73-49 甲南
	2回戦 45-85 彦根工業

◆女子バスケットボール部◆

春季総体	2回戦 65-66 光泉
秋季総体	1回戦 80-52 東大津
	2回戦 104-41 草津
	3回戦 60-71 玉川(ベスト16)
近畿高校新人大会(兼県民体育大会)	2回戦 61-68 伊吹

◆男子バレー部◆

春季総体	予選ブロック 2-1 國際情報
	決勝トーナメント 1回戦 1-2 虎姫
県民体育大会	1回戦 2-1 石山
	2回戦 0-2 彦根東(ベスト16)
秋季総体	予選ブロック 0-2 膽所
	1-2 信楽
新人大会	予選ブロック 0-2 立命館守山
	0-2 東大津

◆卓球部◆

春季総体 団体	1回戦 3-0 長浜北
	2回戦 0-3 水口東
	個人 ダブルス、入江・辻ペアがベスト16→近畿大会に出場

県体 団体 1回戦 3-2 光泉

2回戦 2-3 草津東

秋季総体 団体 1回戦 0-3 甲西

個人 ダブルス、入江・辻ペアが第3位入賞→近畿大会に出場 シングルスにおいて、入江がベスト16

◆野球部◆

春季近畿地区高校野球滋賀県大会	一回戦 1-3 草津東
全国高校野球選手権滋賀大会	一回戦 4-6 八幡工業
秋季近畿地区高校野球滋賀県大会	一回戦 7-11 膽所

◆ソフトテニス部女子◆

春季総体	個人戦 10組出場 2組が県大会に出場
	団体戦 1回戦 1-2 河瀬
県民体育大会	個人戦 3組出場 初戦敗退1組 2回戦敗退2組
	団体戦 1回戦 0-3 水口
秋季総体	個人戦 3組出場 1組が県大会出場
	団体戦 1回戦 1-2 能登川

◆バドミントン部◆

春季総体 団体戦	1-4 河瀬
個人戦	ダブルス 加藤里菜・村田幸子 2-0 河瀬
	シングルス 加藤里菜 2-0 虎姫
	山本さやか 2-0 安曇川
	竹本愛理 2-0 近江
夏季県体 団体戦	3-2 彦根総合
近畿予選 個人戦	シングルス 竹本愛理 2-0 彦根翔陽
秋季総体 団体戦	0-5 堅田

◆硬式テニス部◆

春季総体	シングルス 10人出場 予選にて敗退(篠原健吾予選決勝で敗退)
	ダブルス 7組出場 予選にて敗退(高橋・道明組、花田・山田組、同上)
団体戦	1回戦 3-0 高島
	二回戦 0-3 立命館守山
県民体育大会	団体戦 1回戦 1-4 守山北
	シングルス 10人出場 予選にて敗退(吉澤達也予選3回戦で敗退)
	ダブルス 5組出場 予選にて敗退(高橋璃巨・道明凱斗組予選決勝にて敗退)
秋季総体	シングルス 8人出場 予選にて敗退(速水和希、伊澤景予選3回戦で敗退)
	ダブルス 4組出場 予選にて敗退(吉澤達也・橋本竜組、同上)
県ジュニア選手権	シングルス 8人出場 予選にて敗退(高橋璃巨・道明凱斗組、同上)
	ダブルス 4組出場 予選にて敗退(高橋璃巨・道明凱斗組、同上)

◆女子バレーボール部◆

春季総体	予選グループ戦 0-2 彦根西 (敗者復活) 0-2 大津商業
県民体育大会	0-2 虎姫
秋季総体	予選グループ戦 2-0 石部 決勝トーナメント 0-2 彦根翔陽

文化部

◆放送部◆

春の県NHK杯(朗読部門)、秋の滋賀県高等学校総合文化祭に出場。
日野町青少年意見発表大会の司会、琵琶湖博物館主催「橋本忠太郎展」会場DVDナレーション、
チーム「きらり」防犯パトロール啓発テープの吹き込みなど

◆P C 部◆

第31回近畿地区高等学校ワープロ記念競技大会	団体の部出場
滋賀県高等学校ワープロ競技春季大会	団体の部 第4位
	個人の部 第11位 西川実里(3年)
全国商業高等学校情報処理競技大会滋賀県大会	団体の部 第3位
全国高等学校1T選手権大会	団体の部 優秀賞
滋賀県高等学校ワープロ競技秋季大会	団体の部 第5位
第32回近畿高等学校ワープロ競技大会(平成26年5月)	個人の部出場権を獲得 端雄大
●各種検定試験合格状況	I T パスポート試験 4名
	全商情報処理検定試験 ビジネス情報部門1級 2名
	プログラミング部門2級 2名 他

◆茶華道部◆

平成25年度から茶道部と華道部が合併。
華道は未生流の芹田泰甫先生、茶道は裏千家の鍔桂子先生のご指導を受け、活動。

文化祭で、いけばな展と野点の席を設けました。

◆科学部◆

滋賀県科学部合同合宿参加(夏休み)
体験入学で、アカデミック系列の体験授業の実験補助

文化祭でのドライアイスを使った実験、栽培したサツマイモについての展示発表など

◆美術部◆

8月 平和堂アピア(東近江市)で作品展開催

11月 滋賀県高等学校総合文化祭出場

坂本和磨(S賞受賞)…県内の美術部員が投票し選出する賞)

◆音楽部◆

8月 NHK全国学校音楽コンクール滋賀県大会 銀賞受賞

10月 滋賀県高等学校総合文化祭合唱部門 文化連盟賞受賞

滋賀県高等学校総合文化祭合唱部門独唱の部

第1位 田坂董 第2位 山際都月 奨励賞 大宗洗太郎

11月 近畿高等学校総合文化祭三重大会出場

12月 わたむき合唱祭出場

3月 全国高等学校総合文化祭滋賀大会テーマソング応募(優秀賞・大宗洗太郎)

平成27年滋賀県開催の全国高等学校総合文化祭合唱部門実行委員長に、本校の大宗洗太郎君。

◆手芸部◆

生活に使える小物などを作成。職員玄関前に作品の一部を展示。

◆文芸部◆

春の文学散歩・秋の交流会・びわ湖総文の実行委員など他校との交流に積極的に参加。

2年生の修学旅行とのコラボ企画、絵本「てんでんこ」の紙芝居バージョンを夏休みに完成させ、校内での事前学習や被災地での交流に活かしてもらいました。

文芸誌「storia」、年5回発行。秋の交流会に出品したものは、滋賀県文学会の審査員たちから「特別賞」の評価をいただきました。

(この記録は後援会資料から抜粋させていただいたものです)



平成25年度卒業生 進路状況

目標に向かつて、前向きに歩もう

進路課 朝日 増男

同窓会員の皆様におかれましては、健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

平素は、本校の教育活動に格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は、2001年4月に、本校に赴任して3年間クラス担任をした後、11年間進路（主に就職）指導に携わってきました。その間、各事業所の代表や人事担当の方々と親

しくおつきあいを頂き、大変ありがとうございましたと感謝しております。そんな方々の中には日野高校（時には前任校）のOBやOGの方がおられ、特に親しくお話をさせて頂きました。直接の教え子には、親しみの余り、ついつい失礼な言い方になつたんじゃないかなと、後悔するども（本当に）厳しかった一時期を除く学校の紹介による就職希望者のほ

進路区分			系列				合計			
%	%		ビジネス	ヒューマン	マルチメディア	アカデミック	男子	女子	合計	
進学	55.9	35.8 大学	3	6	5	15	18	11	29	
		16.0 短期大学	2	4	0	7	1	12	13	
		48.1 専修・各種専門学校	12	8	6	13	9	30	39	
		100.0 小計	17	18	11	35	28	53	81	
就職	37.2	学校紹介	17	13	14	6	23	27	50	
		自営・縁故・その他	0	1	2	0	2	1	3	
		公務員	0	0	1	0	1	0	1	
		小計	17	14	17	6	26	28	54	
		町内	3	3	4	0	4	6	10	
		県内	14	11	13	6	22	22	44	
		県外	0	0	0	0	0	0	0	
		事務	3	0	1	0	0	4	4	
		サービス	2	2	2	1	1	6	7	
		技能	11	10	12	4	23	14	37	
		その他	1	2	2	1	2	4	6	
一時的な仕事に就いた者			0	1	3	0	1	3	4	
上記以外の者（家事・大学浪人・その他）			2	3	0	1	3	3	6	
合計			36	36	31	42	58	87	145	

とんどの生徒の内定を頂くことが出来たと感謝しています。
ただ、私たちが高校を卒業したまつた中で、会社にも活気があり、忙しいなかにも余裕があつたように思います。大学に入学する前の3月、近くの町工場で、友だち10名経費削減で会社に余裕がなくなつてきているのではないかと危惧しています。「若者を温かく見守り、育てていただきたい」と切に願っています。

進学の方では、今はオーブンキャンパスなどで入試の前に学校を見学したり、進学ガイダンスで、高校で大学等の担当者から直接説明が聞けるなど、学校について知る機会はものすごくあります。私たちの頃は、入試の直前に下見に行く程度だったのと比べると、大きな違いです。また、入試の形態もAO、指定校推薦、自己推薦、一般入試、センター試験、セントー試験利用入試などいろいろとあり、同じ大学に何回もチャレンジ出来ます。（もちろん、一回一回の定員は少ないので、昔と比べて受かりやすいということではないのですが）

多種多様な入試を自分の目標や希望を見失わず、進路を実現していくことは、大変なことですが、担任や進路課、クラブ顧問などいろんな立場から相談に乗なり、きめ細やかに指導していきたいと思っています。

今年の4月から消費税が8%になりました。生活関連のお店の売り上げが、お寄せください。

(和)

編集後記

地震、台風、集中豪雨、噴火……異常気象や自然災害の頻発は、高度に発達した現代の文明社会に生きる私たちに警告を発しているのでしょうか。近年の大規模災害は幸いにも賀には大きな爪跡を残していませんが、油断は禁物です。

今号は学年や学級の同窓会を特集しました。自然の前におごらす、戦争のない平和な世界を地道に求めながら、いつまでも同窓会ができることを常に喜びたいと思います。

同窓会と会報への意見・感想をお寄せください。

会長	昭和42高C	門坂 剛
副会長	昭和39高C	藤澤 政男
	昭和44高E	西田三枝子
顧問	校長	音野 吉俊
	昭和25高	北村 誠
	昭和27高	橋本 芳邦
	昭和28高	住井 泰之
	昭和32高	岡 光利
常任幹事	昭和28高	西川 一雄
	昭和33高	瀬川 長夫
	昭和37高	寺澤 清穂
	昭和38高	京川 愛子
	昭和39高D	満島美代子
	昭和44高A	飛川 文雄
	昭和48高E	矢島 孝男
	昭和49高A	沢田 友男
	昭和51高E	外池多津彦
	昭和52高C	瀬川 金栄

渓泉同窓会歴代会長一覧（敬称略）

初代	1951～1955 (昭26～30)	*谷 雄治
2代	1956～1958 (昭31～33)	*高井 敏夫
3代	1959～1963 (昭34～38)	中川 良男
4代	1964～1965 (昭39～40)	*吉村 圭司
5代	1966～1968 (昭41～43)	*徳田 二郎
6代	1969～1974 (昭44～49)	*山口 達雄
7代	1975～2010 (昭50～平22)	住井 泰之
8代	2011～現在 (平23～)	門坂 剛

(*印は故人)

任期は平成27年3月までです。新役員に立候補される方がございましたら、学校事務局までご一報ください。自立候補を歓迎いたします。

本会の役員は2年任期のため、原則として昨年度の方に引き続き役員をお願いしています。

渓泉同窓会役員の紹介

